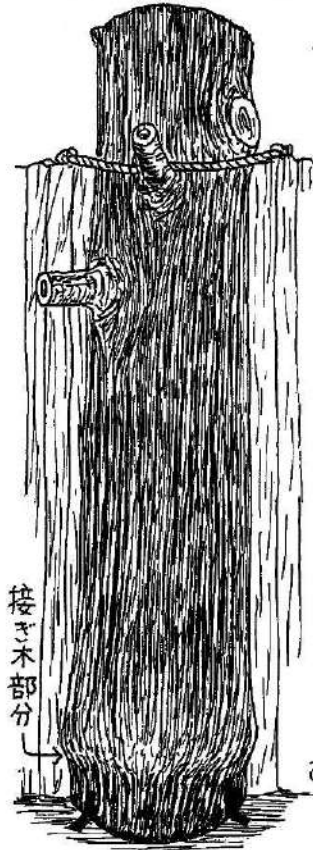


60周年の秋冬



70周年 傘杉の分身展示 (令和5年12月24日)

鳳来寺参道の仁王門を過ぎたところにある名木「傘杉」の70周年を2階の樹幹コーナーに展示しました。
太さ約50cm、高さ約3mの大きさです。これは、昭和47年に傘杉から採穂して接ぎ木によって育成したものです。池場の林業家、金田康嗣氏の山に植樹された個体が今回伐採され、当館と森林・林業技術センターに寄贈されました。遺伝的に傘杉と同一で、50年間育成された貴重な樹木です。

接ぎ木部分

秋のミュージアムフェスティバル (令和5年11月23・26日)

久しぶりのにぎわいが博物館にもどってきました。宝石さがし、鹿角輪投げ、毒きのこ投てき、ワークショップなどを楽しむ子どもたちや大人の歓声がひびきました。天候にも恵まれ、秋の楽しい一日になったと思います。



学術委員全体会議(令和5年12月16日)

令和6年度の学習会、特別展などを協議しました。

記念特別展「博物館60年の軌跡」開催 (令和5年11月19日～令和6年3月31日)



50周年の折に復元した田口鉄道自然科学博物館をそのまま残し、当時から現在までの博物館の足跡をパネルで紹介しています。展示会場には、博物館誕生までの歴史と開館後の主なできごとの年表、教育普及、収集保存、調査研究などの活動記録、学術委員や友の会のコーナーも設けました。

館報や、これまで出版してきた全ての書籍を展示ケースに納めて紹介しています。学習会で用意した昔の手作りテキストや消しゴム出席印も展示しました。

昭和38年の開館式に中日新聞社のヘリコプターが上空から投下した祝辞と筒も展示してあります。

博物館の原点から60年の歩みをふりかえり、新たな博物館の出発の場となる2月3日の記念式典の会場になります。

ツクツクホウシ秋分を過ぎで鳴く (令和5年10月26日)

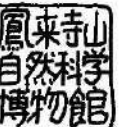
8月下旬から9月上旬頃、夏の終わりを告げてさかんに鳴きます。「ジューツクツク...ツクツクホーシ！」と特徴ある鳴き声です。

この日、海老副川で鳴いているのが確認されました。

九州などの西日本では10月上旬に鳴くこともあるようですが、10月と終わろうとするこの時期は、珍しいことだと思います。



博物館ザッ記 No.45 2024.1



野外学習会「低山の秋を楽しむ」 (令和5年11月2日、雲り、19名参加)

新城市作手総合支所から文殊山までの散策道沿いの植物観察でした。

植物の生存戦略や昆虫との関係など、興味深い話がたくさん聞きました。

山頂ではブナの大樹が出迎えてくれ、樹下でしばし楽しませてくれました。



大ぞうじ大会 (令和5年12月7日)

博物館協力隊のみなさん(15名)と館内外の大ぞうじを行いました。すっかりきれいになって感激です。年の暮れには丸山会長が門松を立ててください、すかすかしく新年を迎えることができました。

研修・出前教室・講座・ガイドツアー・見学案内

- 10月1日 赤塚山公園きのこと観察(19名)
- 4日 東海シニア自然学園ガイドツアー(40名)
- 12日 黄柳野高校クレーターズ「きのこと観察」(22名)
- 18日 千郷中学校1年A組「乳岩峽」学習(32+3名)
- 20日 東三河ジオガイド協会ガイドツアー「湯谷」(15名)
- 23・25日 黄柳野高校インターンシップ(高橋さん)
- 11月6日 東郷東小学校6年生見学案内(26+2名)
- 10日 新城市老人クラブ連合会ガイドツアー(28名)
- 13日 新城生活学校見学案内(25名)
- “ 鳳来寺小学校出前教室(8名)
- 14日 JA文化講座「東三河の自然と博物館60年の歩み」について講話(20名)
- 16日 東陽小学校6年生出前教室(18名)
- 21日 作手小学校6年生化石学習(14+2名)
- 22日 東陽小学校6年生現地学習(19+3名)
- 12月13日 黄柳野高校クレーターズ「相山」(14+3名)
- 15日 JAきわめびと「博物館60年の軌跡」展と館内見学案内(11名)